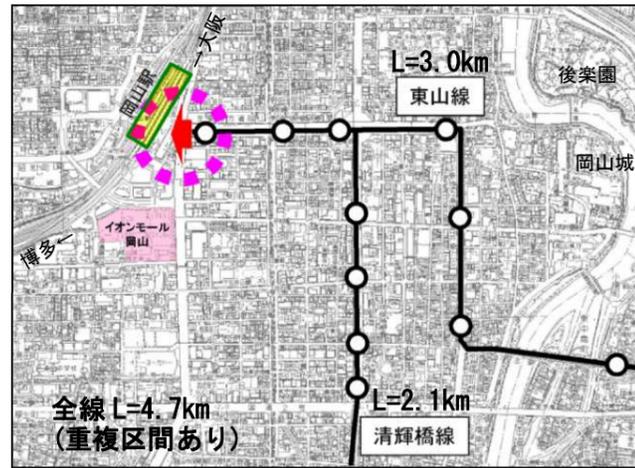


岡山駅前広場への路面電車乗り入れ調査・検討（平成26～27年度）

1. 目的

公共交通の利便性向上、中心市街地の回遊性向上のため、岡山駅の交通結節機能を向上させることを目的としている。



路面電車路線図



岡山駅東口広場現況平面図

2. 検討概要

- 平成26年度より、「魅力づくり」と「回遊性向上」をキーワードに様々な取り組みを行っている中心市街地活性化政策パッケージに位置づけ、調査・検討を開始。
- ①平面乗り入れ、②高架乗り入れ、③地下乗り入れに加え、④歩行者デッキ連結の合計4パターンを比較検討し、計画案を絞り込む。

3. 路面電車岡山駅前広場乗り入れ計画案調査検討会

関係者から幅広く意見を伺うことを目的に設置。

- 委員：学識者、連合町内会長、岡山商工会議所、交通事業者、岡山国道事務所 他
- オブザーバー：中国運輸局企画観光部交通企画課、岡山県警察交通部交通規制課

第1回調査検討会（平成26年8月8日）

- 駅前広場、地下通路の概要説明と検討においてコントロールとなる施設等を提示した。

第2回調査検討会（平成27年1月20日）

- 複数の具体案（26案）を作成し、事業費や効果に加え、道路交通への影響や乗り場までの動線、地下構造物への影響等について比較検討結果を提示した。

第3回調査検討会（平成27年3月24日）

- 計画案を2パターン3類型（平面乗り入れ、デッキ直線形、デッキ円形）の5案に絞り込んだ。

第4回調査検討会（平成27年11月24日）

- 「経済性（事業効果）」、「利便性（乗換）」に優れる平面乗り入れ案を市の計画案として提示した。

第5回調査検討会（平成28年3月18日）

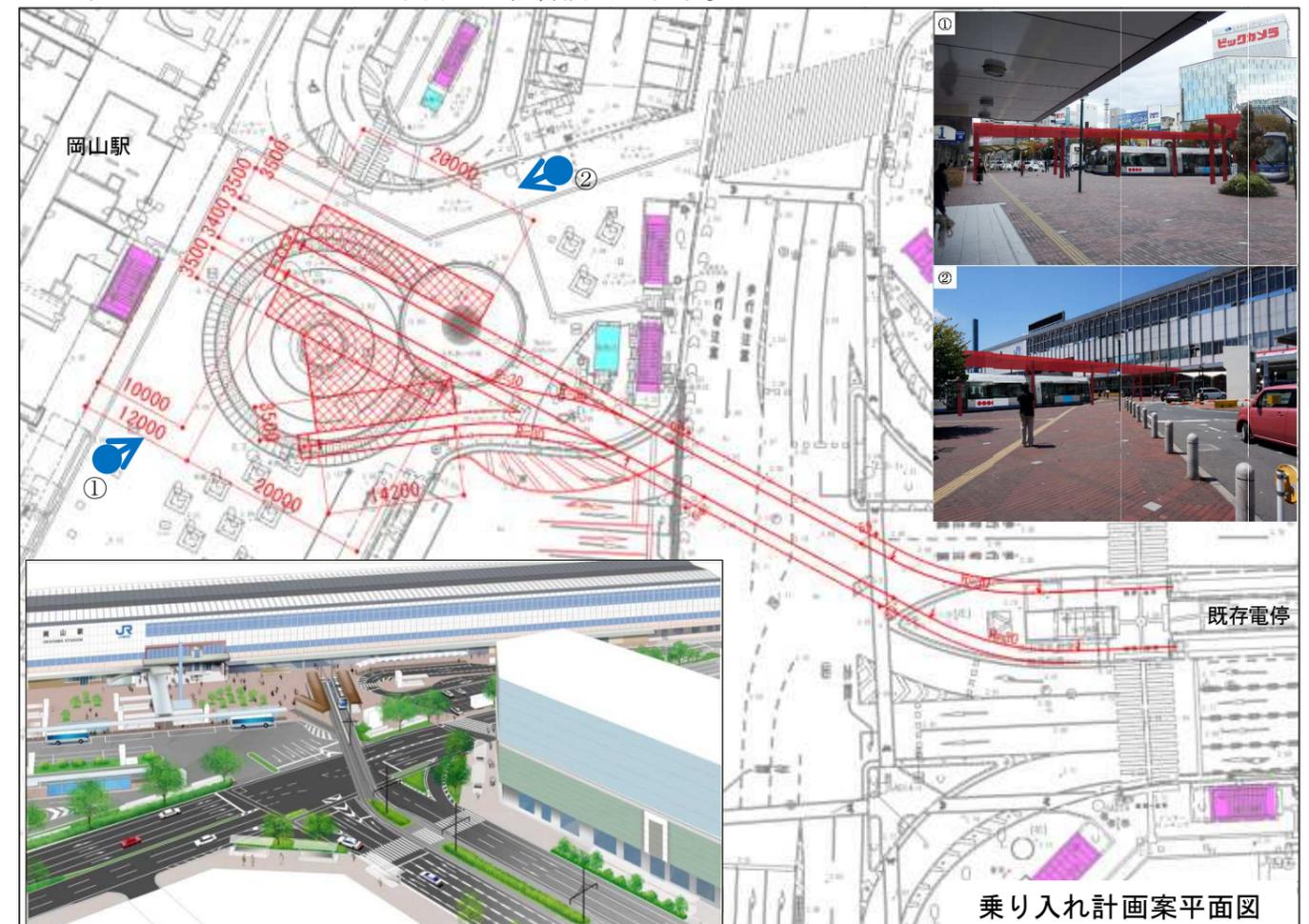
- 現況図に誤りがあったため、これまでの検討結果を見直すとともに、平面乗り入れ案の修正案を提示した（右図参照）。
- 以後は、この修正案をベースに検討をすすめるとともに、乗り入れを契機に駅前広場のあり方についても検討することとした。

4. 主な課題

- これまで実施した地元説明会では、若い人の意見を聞くべきとの意見が出されている。
- 噴水周辺に路面電車が乗り入れることにより、駅前商店街への歩行者動線が縮小されるため、必要な空間の確保が求められる。
- 路面電車の乗り入れに伴いバスの青時間が短縮され、運行の遅れの懸念があり、路面電車が乗り入れた場合の信号パターンでの実証実験の実施要望が出されている。
- 実証実験の実施については、市民のコンセンサスを得るためにも実施すべきとの意見が出されている。
- タクシーを駅前交差点に直接出入りできるようにすべきとの要望をいただいている。
- さらなる混雑の発生とレールと二輪車の交差によるスリップ事故発生が懸念されている。
- 地元町内会や駅前商店街、バス協会、タクシー協会など関係者へ説明を行い、施策の必要性について理解が得られるよう努めていくとともに、課題を解消するための方策などを話し合う。

5. 今後の予定

- 路面電車の駅前広場への乗り入れとともに、乗り入れを含めた駅前広場のあり方について検討し、基本計画案を作成する。
- 乗り入れたことによる地下街への影響調査を行う。



乗り入れ計画案平面図